

第2章 豊後大野市の現況・課題

2-1. 豊後大野市の人口・社会動態

2-1-1 人口推移

豊後大野市は、人口減少及び高齢化が進行しており、2020年（令和2年）時点で、高齢化率は40%を超えており、今後の将来推計人口においても40%以上の値で推移する超高齢化地域です。

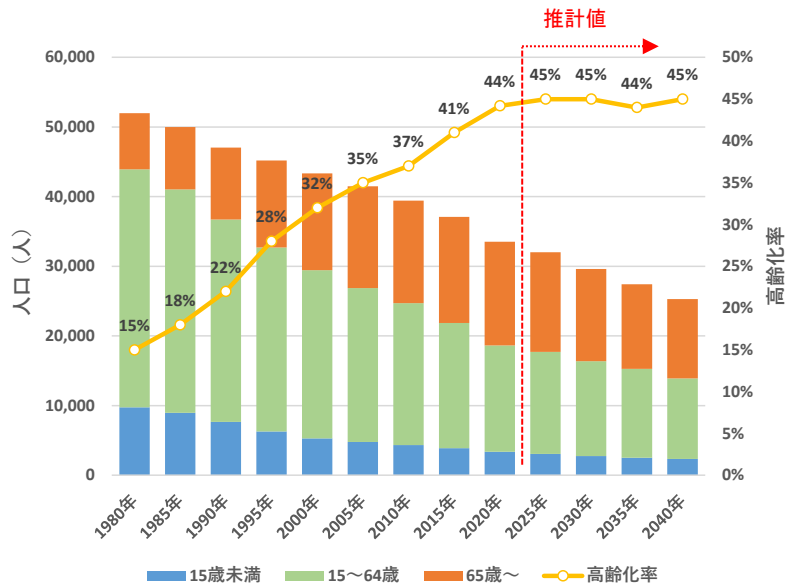


図2 人口推移

出典：～令和2年は国勢調査、2025年からは国立社会保障・人口問題研究所の推計値

表1 人口推移

	総人口	15歳未満	15～64歳	65歳～	高齢化率
1980年	51,975	9,751	34,188	8,036	15%
1985年	50,011	8,968	32,068	8,975	18%
1990年	47,034	7,660	29,043	10,331	22%
1995年	45,191	6,300	26,404	12,485	28%
2000年	43,371	5,312	24,126	13,912	32%
2005年	41,548	4,779	22,089	14,617	35%
2010年	39,452	4,333	20,391	14,720	37%
2015年	37,083	3,876	17,984	15,223	41%
2020年	33,695	3,364	15,270	14,895	44%
2025年	32,025	3,060	14,642	14,323	45%
2030年	29,630	2,748	13,632	13,250	45%
2035年	27,425	2,528	12,741	12,156	44%
2040年	25,295	2,356	11,557	11,382	45%

出典：～令和2年は国勢調査、2025年からは国立社会保障・人口問題研究所の推計値

2-1-2 年代別人口と高齢化の状況

町別の人口をみると、市内中心部より南西部の大分市から離れた地域では高齢化率が高く、緒方町 55.5%、朝地町 52.6%、大野町 50.8%と非常に高い値となっています。

本市では、高齢化率が 50%を超えた集落を小規模集落として位置づけており、令和 3 年 3 月末日時点で市内 222 自治会のうち、小規模集落は 129 自治会あり、中には高齢化率が 80%を超える集落が市内各所に点在しています。

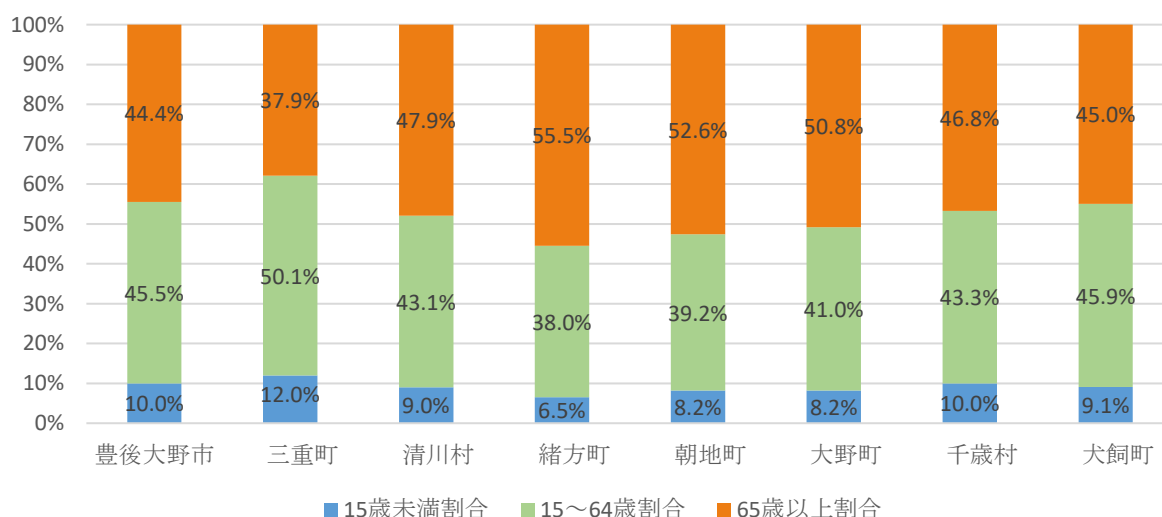


図 3 地区別の年齢別人口

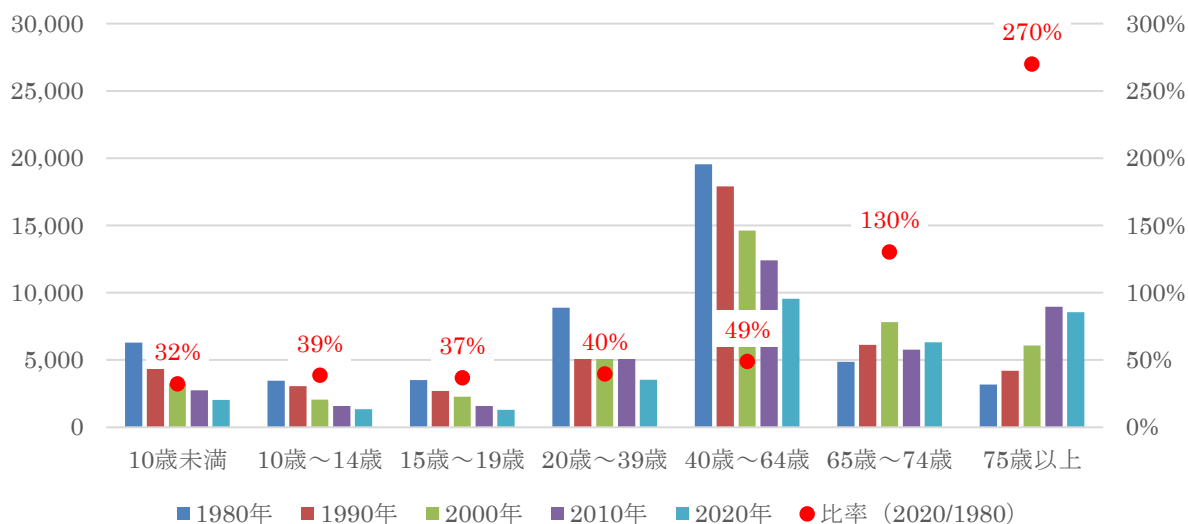
出典：令和 2 年国勢調査

表 2 地区別の年齢別人口

	15 歳未満 人口	15～64 歳 人口	65 歳以上 人口	(再掲) 75 歳以上 人口	(再掲) 85 歳以上 人口	計	15 歳未満 割合	15～64 歳 割合	65 歳以上 割合	75 歳以上 割合
豊後大野市	3,364	15,270	14,895	8,566	3,795	33,529	10.0%	45.5%	44.4%	25.5%
三重町	1,929	8,048	6,098	3,464	1,483	16,075	12.0%	50.1%	37.9%	21.5%
清川村	155	743	827	495	224	1,725	9.0%	43.1%	47.9%	28.7%
緒方町	286	1,672	2,446	1,467	653	4,404	6.5%	38.0%	55.5%	33.3%
朝地町	187	891	1,194	689	294	2,272	8.2%	39.2%	52.6%	30.3%
大野町	316	1,578	1,954	1,152	581	3,848	8.2%	41.0%	50.8%	29.9%
千歳村	191	827	894	486	230	1,912	10.0%	43.3%	46.8%	25.4%
犬飼町	300	1,511	1,482	813	330	3,293	9.1%	45.9%	45.0%	24.7%

出典：令和 2 年国勢調査

※年齢不詳除く



※増減率は、1980年の人口を基に算出しております。

図 4 年代別人口推移と増減率の変化

表 3 年代別人口推移と増減の変化

男女計	1980 年	1990 年	2000 年	2010 年	2020 年	2020－1980	2020－2000
0～4 歳	2,945	1,964	1,513	1,299	888	△ 2,057	△ 625
5～9 歳	3,346	2,626	1,748	1,439	1,139	△ 2,207	△ 609
10～14 歳	3,460	3,070	2,051	1,595	1,337	△ 2,123	△ 714
15～19 歳	3,505	2,702	2,270	1,581	1,287	△ 2,218	△ 983
20～24 歳	2,250	1,446	1,684	1,194	912	△ 1,338	△ 772
25～29 歳	2,820	1,758	1,918	1,511	949	△ 1,871	△ 969
30～34 歳	3,299	2,343	1,731	1,786	1,126	△ 2,173	△ 605
35～39 歳	2,761	2,893	1,910	1,912	1,452	△ 1,309	△ 458
40～44 歳	3,399	3,302	2,438	1,661	1,690	△ 1,709	△ 748
45～49 歳	4,410	2,668	2,867	1,892	1,858	△ 2,552	△ 1,009
50～54 歳	4,796	3,259	3,319	2,441	1,599	△ 3,197	△ 1,720
55～59 歳	3,797	4,192	2,728	2,981	1,911	△ 1,886	△ 817
60～64 歳	3,151	4,480	3,261	3,432	2,486	△ 665	△ 775
65～69 歳	2,673	3,439	3,881	2,736	3,035	362	△ 846
70～74 歳	2,189	2,687	3,940	3,035	3,294	1,105	△ 646
75～79 歳	1,653	2,025	2,799	3,346	2,377	724	△ 422
80～84 歳	1,001	1,273	1,800	2,953	2,394	1,393	594
85～89 歳	419	653	1,004	1,696	2,125	1,706	1,121
90 歳以上	101	254	488	954	1,670	1,569	1,182
年齢不詳	0	0	21	8	166	166	145
総数	51,975	47,034	43,371	39,452	33,695	△ 18,280	△ 9,676

※2020年と1980年の40年間で65歳以下の人口が約25千人減少し、65歳以上の人口は約7千人増加しています。高齢者の割合は増加しているものの、65歳以上人口は過去15年間、人数の増減に大きな変化がありません。しかし、75歳以上人口は、平成22年国勢調査結果から年々減少しています。

出典：国勢調査

2-1-3 人口分布

(1) 全人口の分布状況

交通結節点が位置する地域に人口が集中しています。特に三重町に人口は集中しています。一方、三重町・清川町・緒方町・朝地町・大野町の周辺部等では、人口は少ない状態にあります。

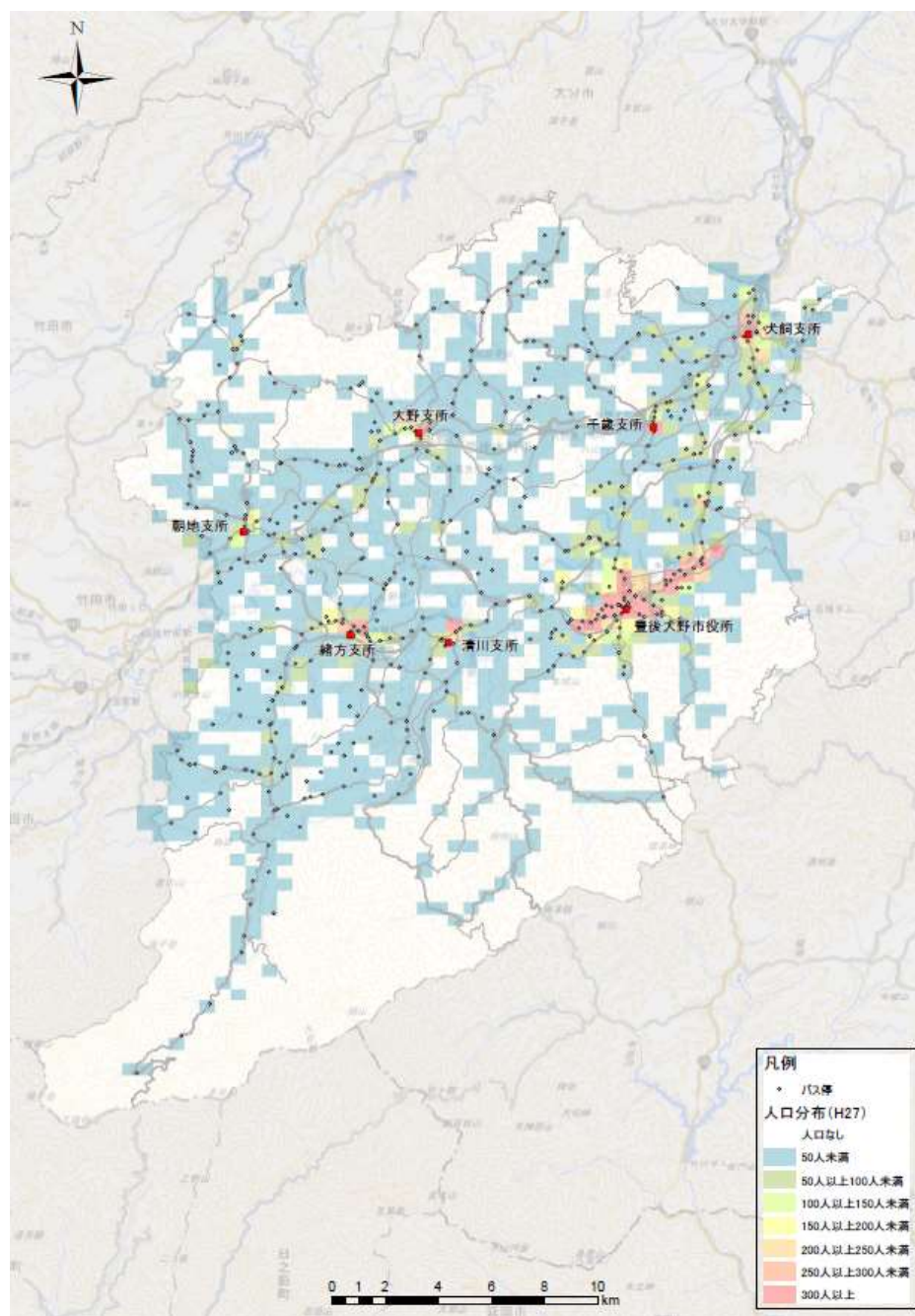


図 5 人口分布（250m×250m 範囲）

出典：平成 27 年国勢調査

(2) 高齢者人口の分布

高齢者人口はバス路線沿線に、特に三重地域に集中しています。豊後大野市中央に位置する清川・三重地域を中心に人口に対し、バス停や路線数が少ない課題が見られます。

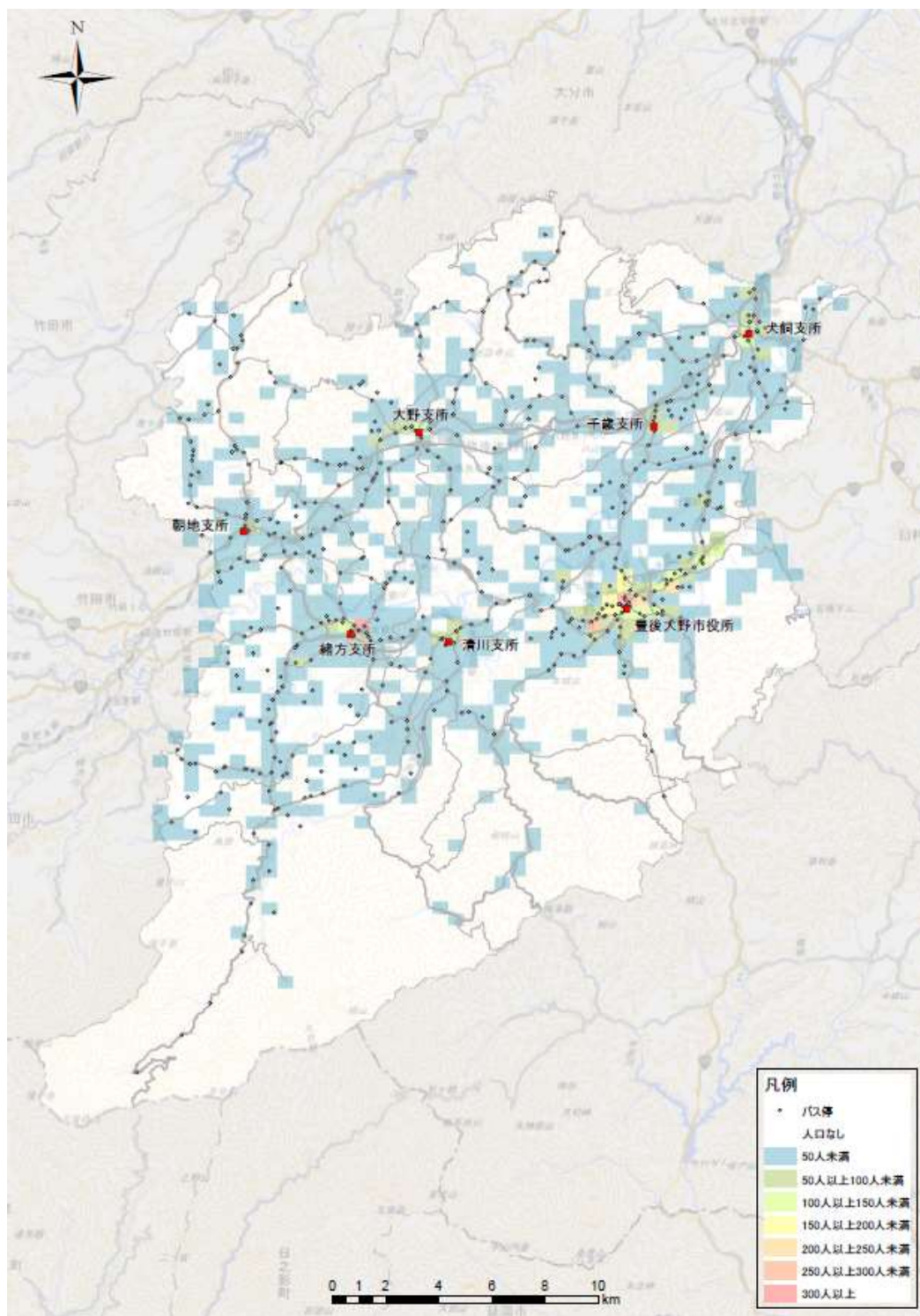


図 6 高齢者人口分布（250m×250m 範囲）

出典：平成 27 度国勢調査

(3) 生産年齢人口の分布

生産年齢人口は、三重・犬飼・朝地地域に集中する傾向が見られます。高齢者の人口分布と特徴は合致しており、豊後大野市中央に位置する清川地域・大野地域を中心に人口に対し、バス停や路線数が少ない課題が見られます。

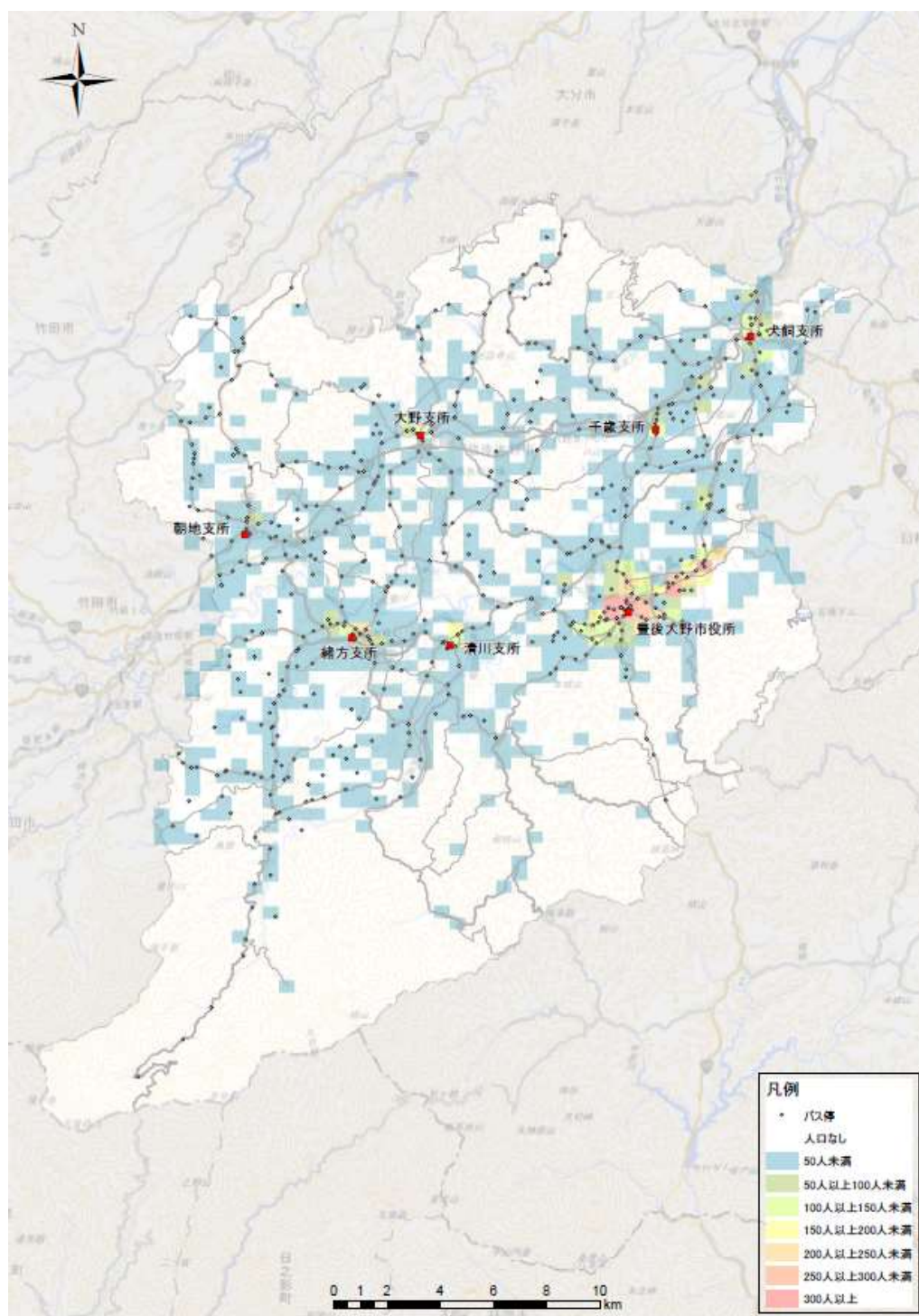


図 7 生産年齢人口分布 (250m×250m 範囲)

出典：平成 27 度国勢調査

2-1-4 通勤通学流動

国勢調査結果によると、本市の通勤通学流動状況は、市内での通学や通学が多いものの、県都大分市、他、竹田市との往来が多い傾向にあります。なお、高校生の通学はJR豊肥本線を利用した通学が多いものの、近年では親の送迎による通学も目立つようになっています。

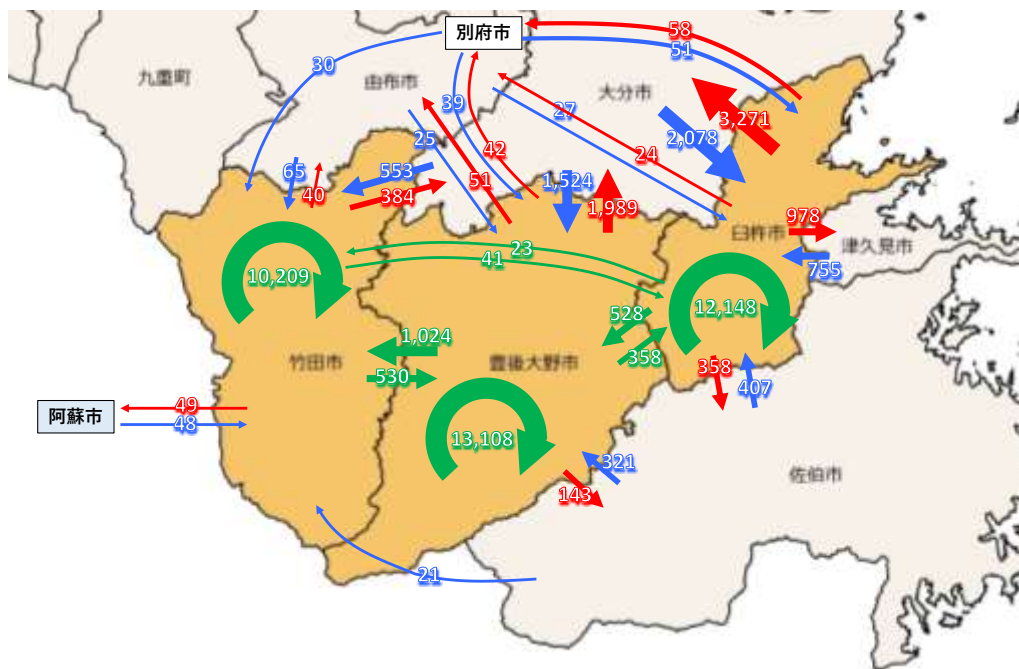


図 8 通勤流動



図 9 通学流動

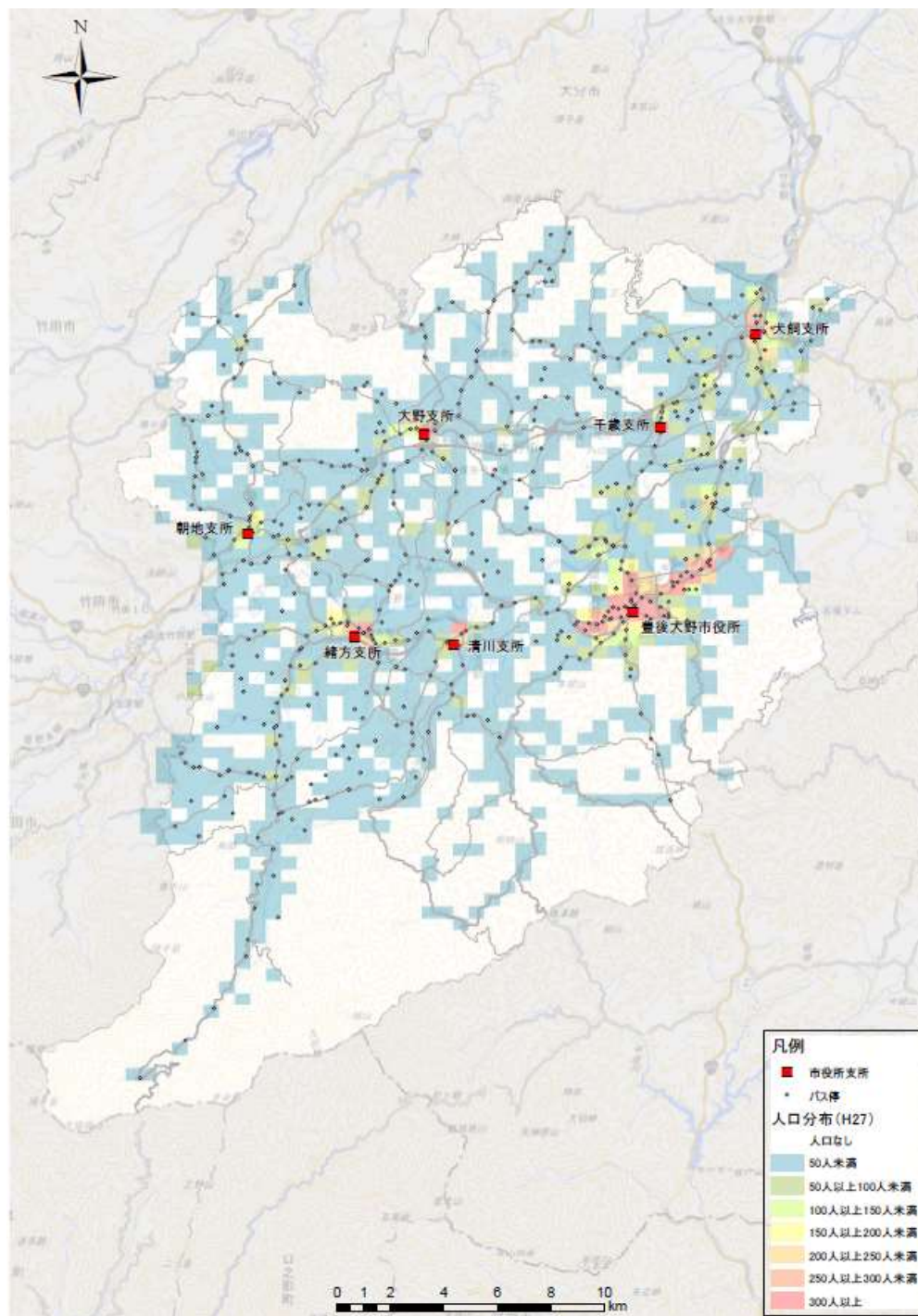
出典：平成 27 年国勢調査

2-2. まちづくりの動向

2-2-1 生活利便施設の立地状況

(1) 公共施設（市役所・支所）

市役所・支所の位置を示します。

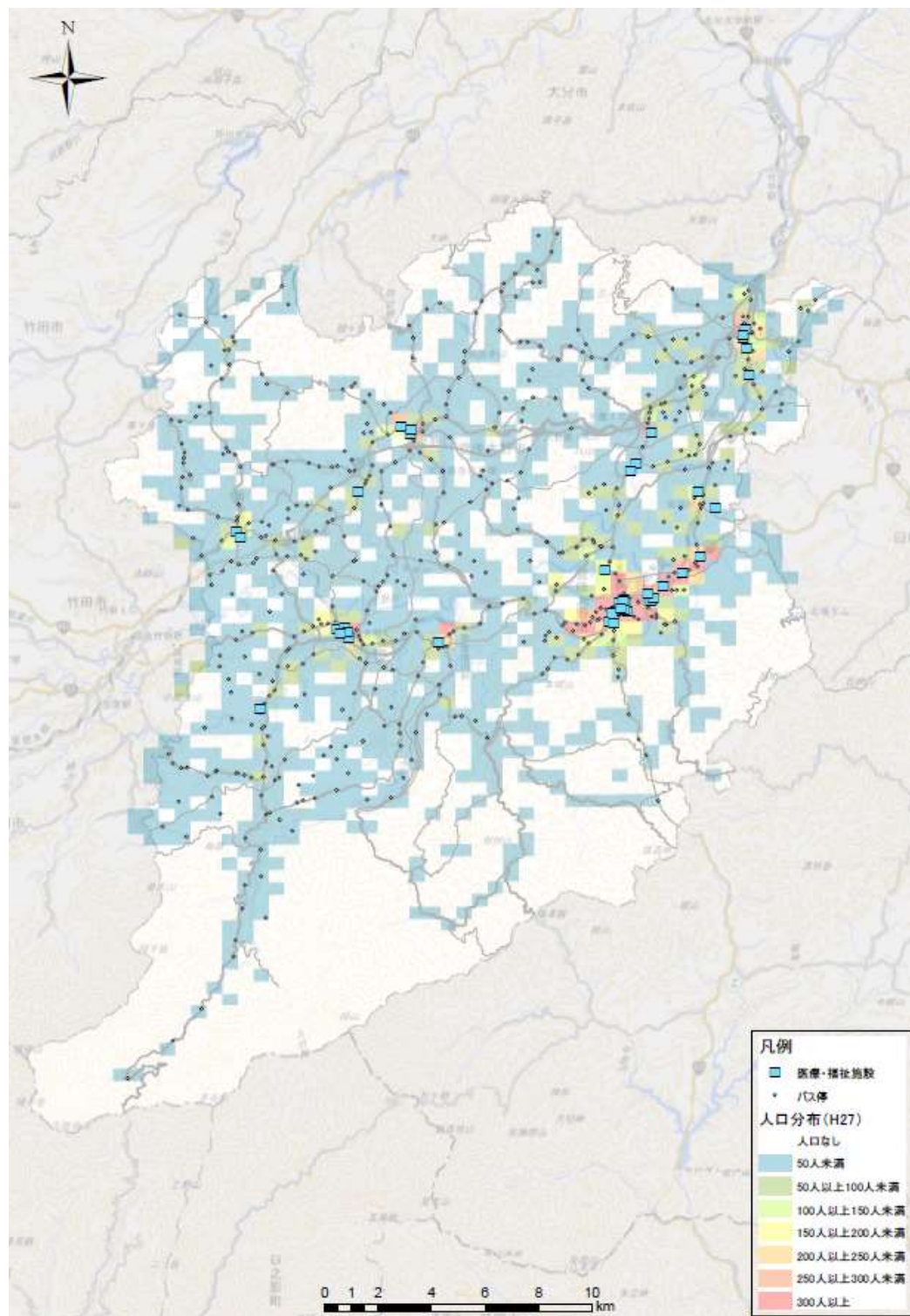


出典：国土数値情報、大型小売店総覧、H27 国勢調査

図 10 公共施設の立地状況（人口メッシュ：H27 国勢調査 全人口）

(2) 医療・福祉施設

病院は、緒方町の市民病院と三重町の中心部から国道 326 号沿線に民間病院が集まります。また、その他の診療所は、三重町の都市計画区域内のほかに、各地区の支所付近にも立地しています。



出典：国土数値情報、大型小売店総覧、H27 国勢調査

図 11 医療・福祉施設の立地状況（人口メッシュ：H27 国勢調査 全人口）

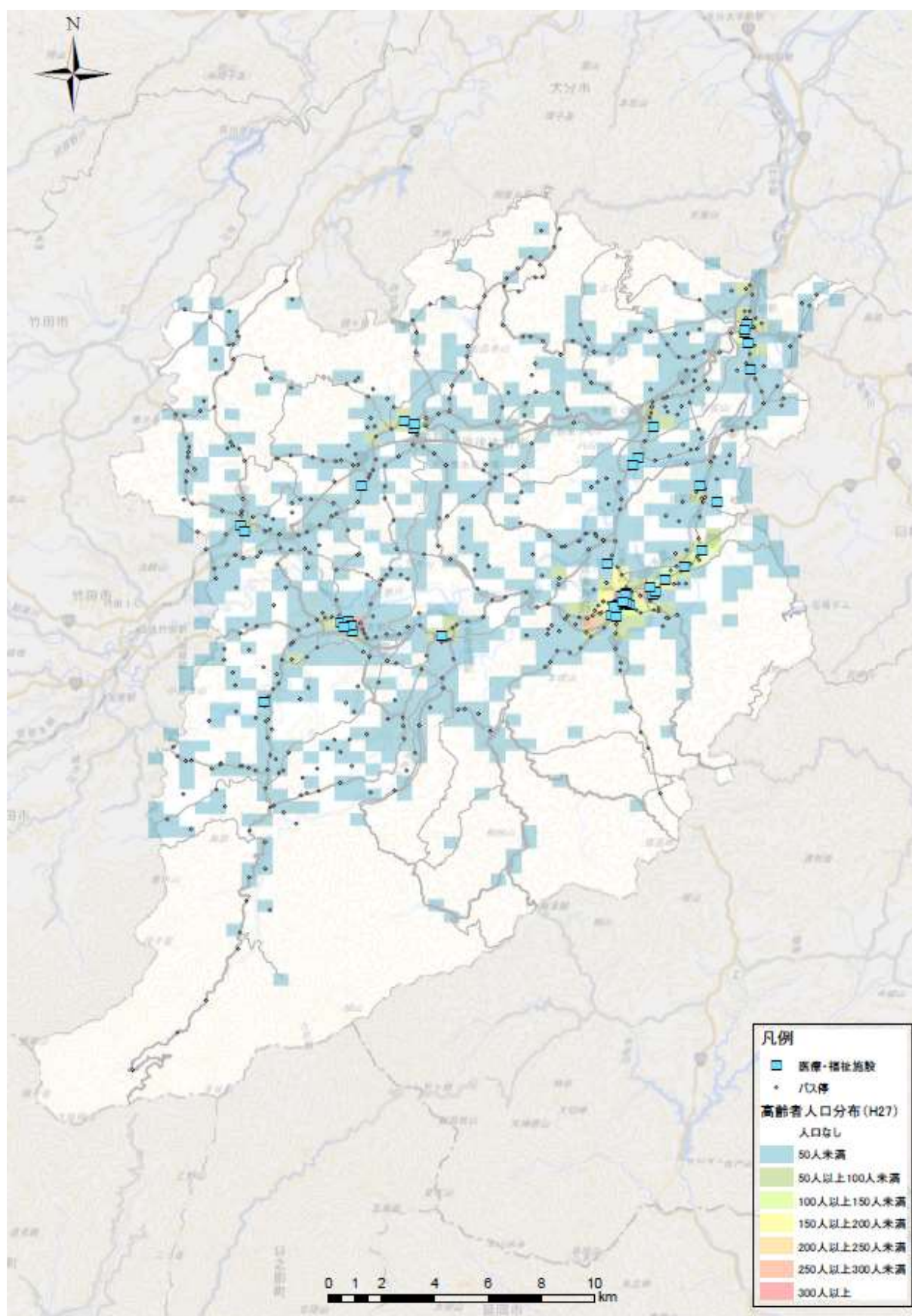


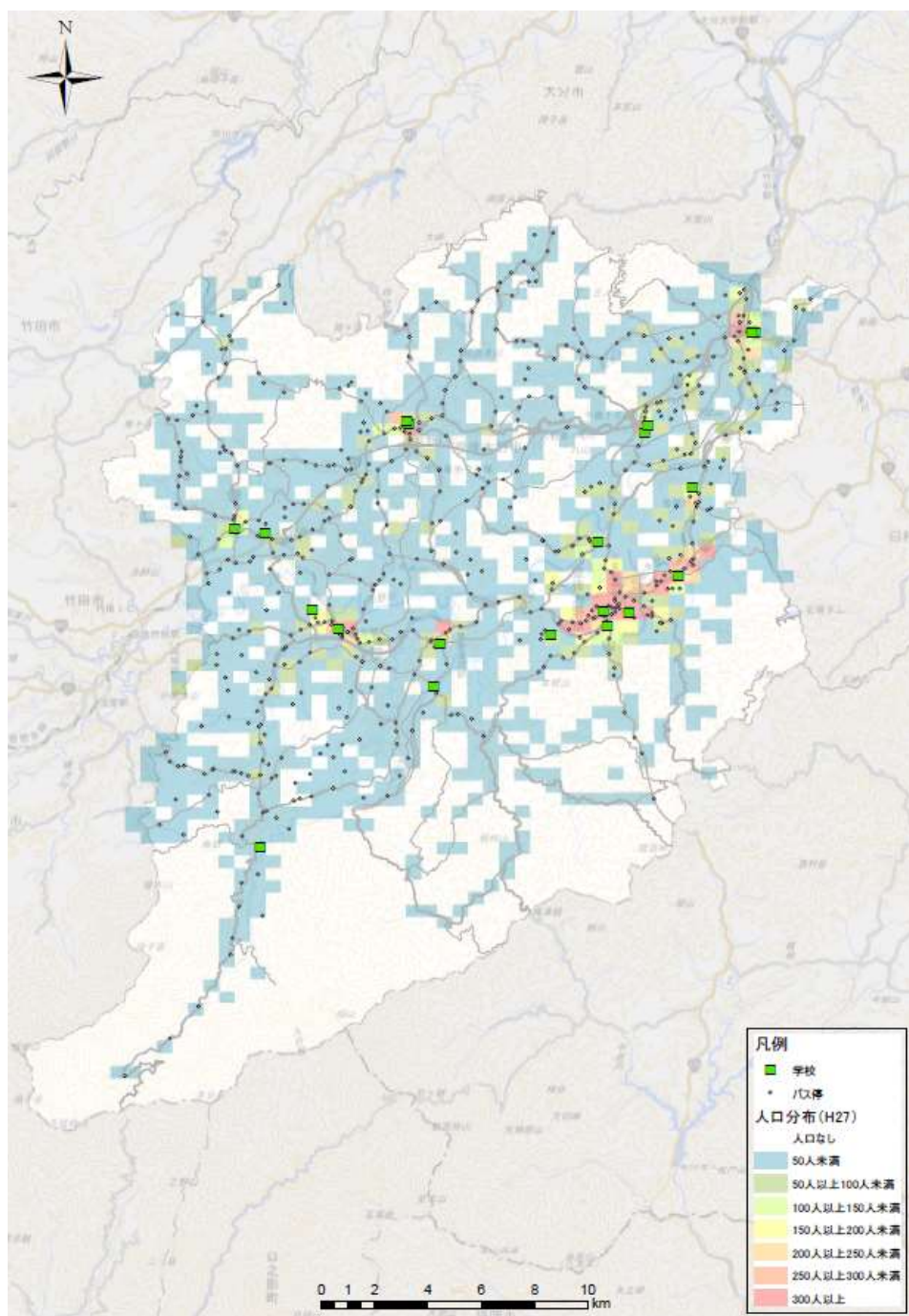
図 12 医療・福祉施設の立地状況（人口メッシュ：H27 国勢調査 高齢者）

(3) 学校施設

学校施設は、小学校が三重町の都市計画区域内に3校、都市計画区域周辺に2校立地しているほか、その他の各地区の支所付近にそれぞれ1校立地しています。

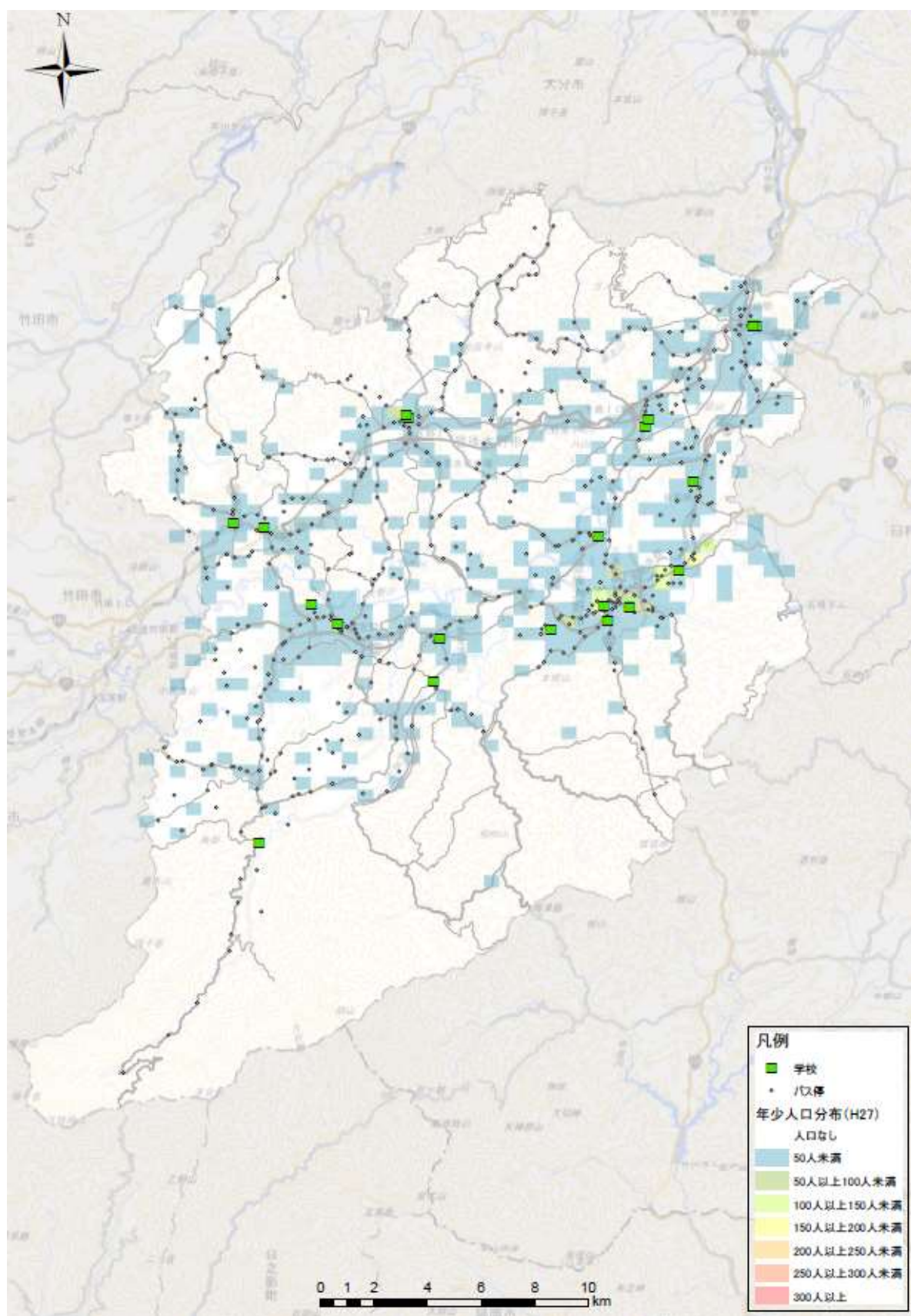
中学校は、小中一貫校となった朝地小中学校を含み7つの地区それぞれに1校立地しており、そのうち緒方中学校を除き、市役所及び支所に近接して立地しています。

このほか、高等学校が1校、専門学校が2校、県立農業大学校が1校三重町に立地しています。



出典：国土数値情報、H27 国勢調査

図 13 学校施設の立地状況（人口メッシュ：H27 国勢調査 全人口）



出典：国土数値情報、H27 国勢調査

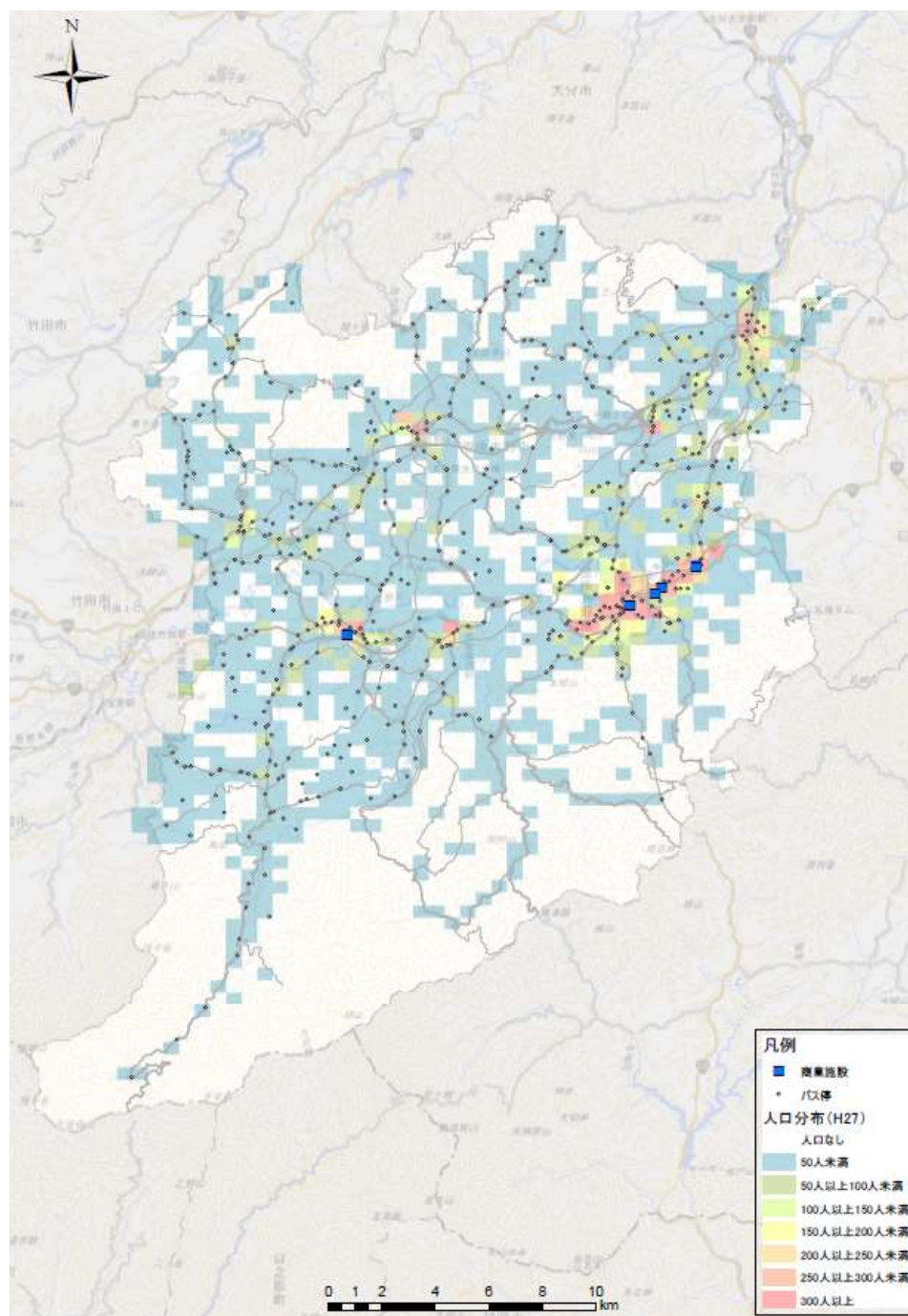
図 14 学校施設の立地状況（人口メッシュ：H27 国勢調査 年少人口）

(4) 商業施設

本市の買い物施設としては、観光施設でもある道の駅が5箇所立地しています。

その他、市民の生活を支える生鮮品を扱うスーパーマーケットやコンビニエンスストアは、各地区の支所周辺に立地していますが、特に三重町中心部から国道326号沿線には大規模商業施設のホームセンター、ドラッグストアが集中して多く立地しています。

朝地町、千歳町の中心部から食品スーパーが相次いで撤退したため、近隣の町へ出向かなければいけない状況となっています。



出典：国土数値情報、大型小売店総覧

図 15 商業施設の立地状況（人口メッシュ：H27 国勢調査 全人口）

(5) 金融機関等

金融機関は、三重町に集中していますが緒方町、大野町、犬飼町の支所近隣にも立地しており、その他、市内各所に郵便局が立地しています。しかし、近年は金融機関等の経営改善の影響で、JA おおいたの清川、朝地、千歳、犬飼各支所が廃止されています。

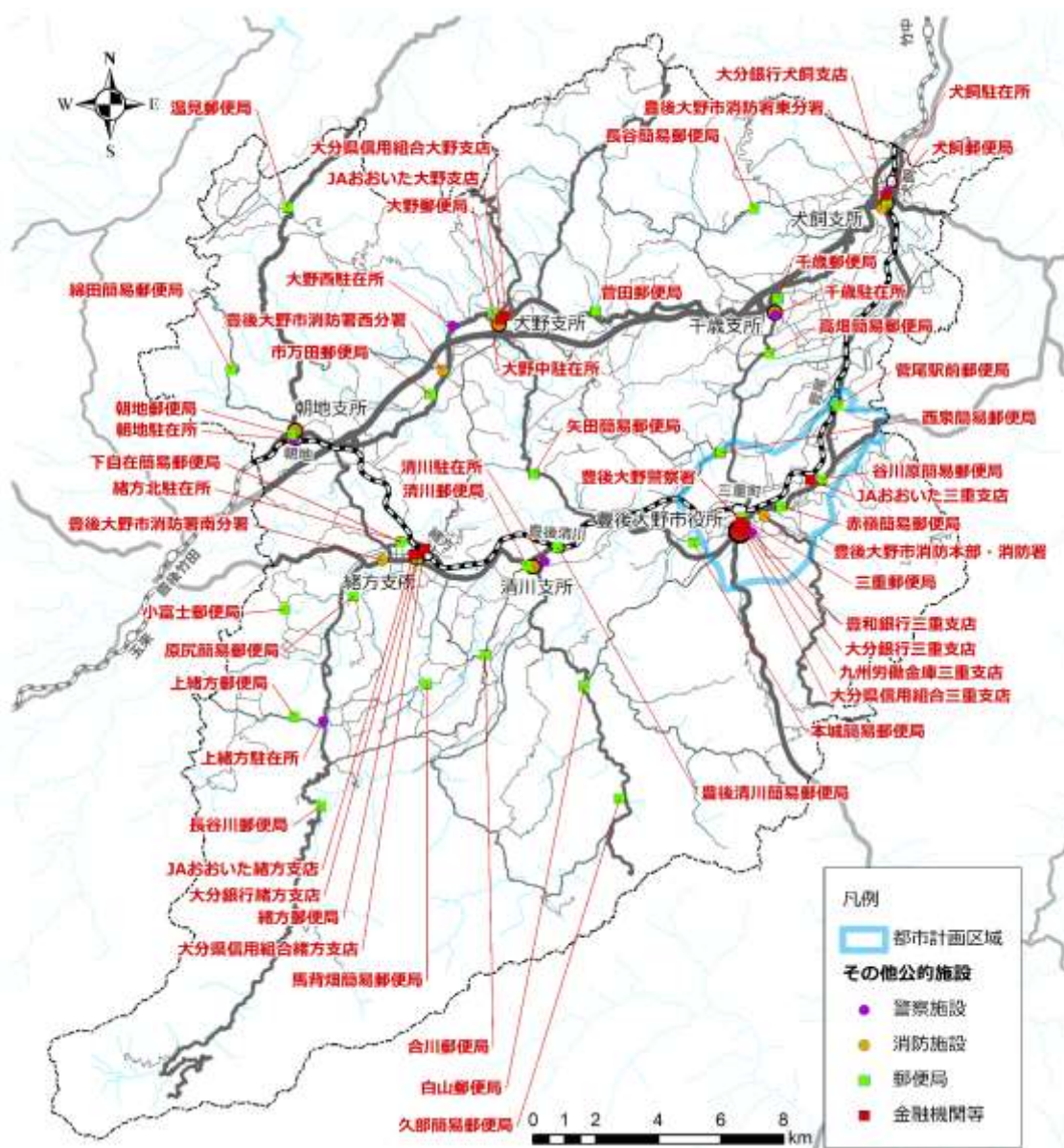


図 16 金融機関の立地状況

出典：令和元年度豊後大野市立地適正化計画策定業務委託 報告書